



一般社団法人 宮崎青年会議所

第1回宮崎青年会議所 DXさきがけプロジェクト ～DXを感じる！～



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する





Update

多様化する価値観を受け入れ 変化に挑戦する



Update 多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する

開 会



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する

趣旨説明

ITイノベーション委員会

委員長 村社司 君



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する

講師紹介

はしもと たかゆき
橋元 隆幸 様

(略歴)

- 2000年 株式会社デンサン入社（プログラマーとして開発部門）
- 2010年 プロジェクトマネージャーとして全国初となるブラウザを使ったクラウド型カルテシステムをリリース
- 2019年 開発部長として商品開発部門を牽引
- 2022年 宮崎、鹿児島を中心とした民間系営業、開発統括部長に着任

文科省より委託の「専修学校による地域産業中核的人材養成プログラム開発事業」へ委員として参画
「宮崎県デジタル人材育成コンソーシアム」の委員としても参画し、人材育成に貢献



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



第1部セミナー

「DXを感じる」



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



第一回：宮崎青年会議所 DXさきがけセミナー

DX入門

未来のビジネスを牽引するための基礎知識

— テーマ：DXを感じる —



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する





DX入門

— テーマ：DXを感じる —

自己紹介

名前：橋元隆幸
年齢：46歳

宮崎北高等学校
↓
福岡工業大学 工学部
↓
デンサン入社

入社：2000年4月1日
(入社23年目)

開発部
↓
医療営業部 (デンタル開発)
↓
商品開発部
↓
営業支援部
↓
企画営業部 兼 営業二部
↓
民間営業・開発統括 (現在)

DX入門

— テーマ：DXを感じる —



INDEX

1. DXの定義
2. DX類似の言葉
3. 民間の定義（各社例）
4. DX時代のIT投資
5. DX までの階段
6. 危機回避・脅威打破のDX
7. 機会獲得のDX
8. DX概論まとめ



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



DX

Digital Transformationの略

DXの定義

2004年の定義

「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」

DX提唱者

エリック・ストルターマン

インディアナ大学情報学・コンピューティング学・工学系研究科情報学教授

DXの定義

2010年の定義

デジタルビジネス・トランスフォーメーション

「デジタル技術とデジタル・ビジネスモデルを用いて組織を変化させ、業績を改善すること」

DX提唱者

マイケル・ウェイド

スイスIMDビジネススクール教授

DXの定義

2018年の定義

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」



経済産業省



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する

1.DXの定義

当初

- ✓ デジタル技術による外部環境が、人々の生活のあらゆる面に影響を与えると提唱
- ✓ 盲目的にデジタル技術を受け入れることに**批判的な立場**



日本では、より良い**影響**があると訳され、解釈

DX提唱
エリック・ストルターマン

1.DXの定義



DXは

- ✓ 組織や個人が主体的かつ戦略的に起こすもの
- ✓ 企業、行政、自治体などの自己変革
- ✓ 単なるデジタル化

として使われているケースも増えてきた

新定義 必要性

DX提唱者
エリック・ストルターマン



1.社会のDX

2022新定義

DXは

単なる技術的な発展ではなく、社会を構成する私たちが
リアル空間とデジタル空間が融合し高度に複雑で変化する
世界にどのように関わり、接するかに影響を与える
広く深い変化である

DXはよりスマートな社会と、
一人ひとりが健康で文化的なより良い生活を送れる
サステナブルな未来の実現をもたらさう

1.DXの定義



DX提唱者
エリック・ストルターマン

2.公共のDX 2022新定義

DXは

あらゆる組織や分野でスマートな行政サービスを展開し、革新的な価値創造を支援することができるものである

既存の仕組みや手続きへの挑戦、より住民本位の革新的な解決策を協働で考えることを促す

住民をより安全・安心にし、快適で持続可能な社会へと導くことができるソリューションを生み出すことで、住民の幸せや豊かさ、情熱を実現し、地域やエリアの価値を向上させることを可能にする



3.企業のDX 2022新定義

DXは

企業がビジネスの目標やビジョンの達成にむけて、
その価値、製品、サービスの提供の仕組を変革すること

顧客により高い価値を提供することを通じて、
企業全体の価値を向上させることも可能にする

戦略、組織行動、組織構造、組織文化、教育、ガバナンス、手順
など、組織のあらゆる要素を変革し、デジタル技術の活用に基づく
最適なエコシステムを構築することが必要である

混同注意

いくつかの似たような言葉

AX Analog Transformation (アナログ・トランスフォーメーション)
App Transformation (アプリ・トランスフォーメーション)

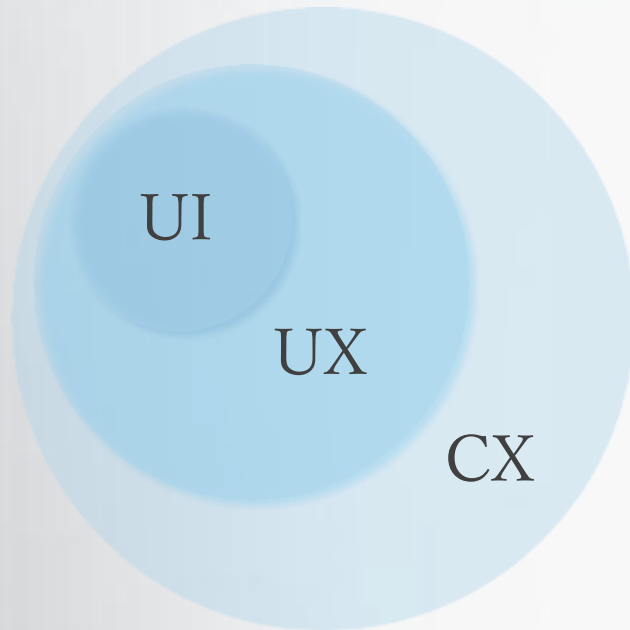
BX Business Transformation (ビジネス・トランスフォーメーション)
Business of Experience (ビジネス・オブ・エクスペリエンス)

CX Corporate Transformation (コーポレート・トランスフォーメーション)
Customer Experience (カスタマー・エクスペリエンス)



混同注意

いくつかの似たような言葉



UI User Interface
ユーザーインターフェース

サービスやプロダクトとユーザーの接点
UIはあくまでUXを作り出す要素の1つにすぎない

UX User Experience
ユーザーエクスペリエンス

ユーザーがプロダクトやサービスを通して得られる体験

CX Customer Experience
カスタマーエクスペリエンス

購入から利用過程における経験 「感情的な価値」の訴求を重視する



各社の定義

Gartner

1	業務プロセスの変革	プロセス
2	ビジネスと企業、人を結び付けて統合する	統合
3	仮想と物理の世界を融合して人／モノ／ビジネスが直接つながり顧客との関係が瞬時に変化していく状態が当たり前となる	つながり

各社の定義

McKinsey&Company

1	デジタルを軸とする経営戦略	経営戦略
2	顧客の囲い込みにデジタルを活用	顧客
3	プロセス改善やバックオフィスの最適化	バックオフィス
4	デジタルを活用した新規ビジネス	新ビジネス
5	デジタル人材の強化	人材
6	アジャイルオペレーティングモデルの導入	アジャイル
7	ITコストの最適化	コスト

各社の定義

Deloitte.

1	柔軟で堅牢なインフラストラクチャー	インフラ
2	データ活用の熟達	データ
3	デジタル人材のオープンタレントネットワーク	人材
4	エコシステム全体への積極的な関与	エコシステム
5	インテリジェントなワークフロー	ワークフロー
6	一元化されたカスタマー・エクスペリエンス	顧客
7	ビジネスモデルの適応力	ビジネスモデル

DXにおけるIT投資

Value Up

これまでのIT投資

Run the Business



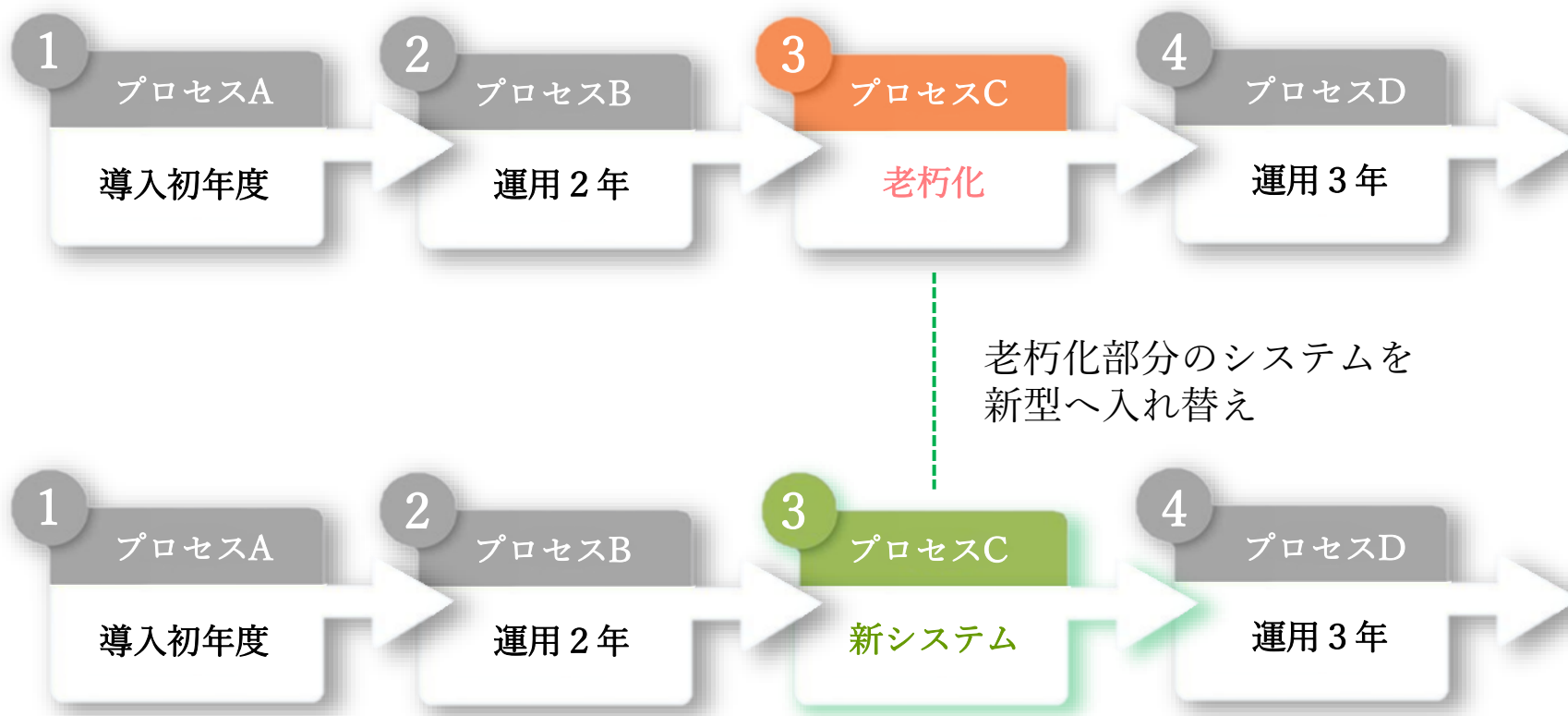
Run the Business

維持のためのIT投資



Run the Business

老朽化に伴うシステムの入替えが主な理由



Value Up

競争優位のためのIT投資

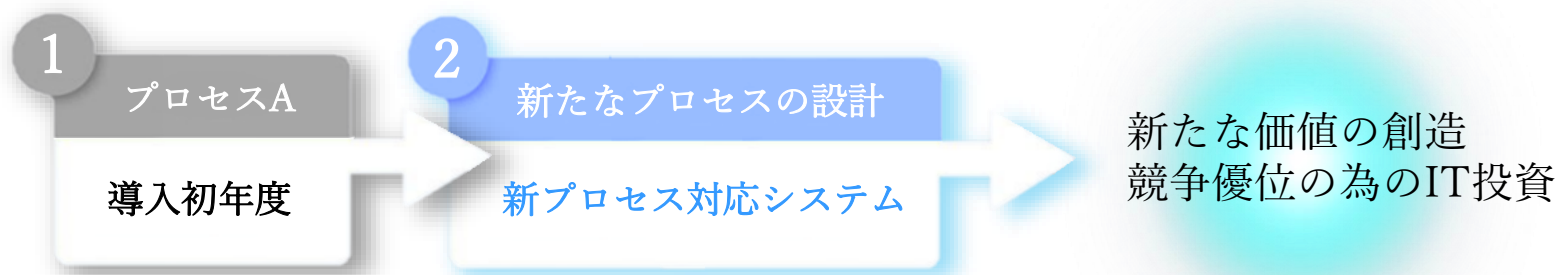


価値
向上

新たな
価値

Value Up

プロセスの抜本改革と併せて価値を生み出す投資



DX 3つの階段（～2022年）

1 Digitization
デジタイゼーション

アナログのデジタル化



2 Digitalization
デジタライゼーション

IT+業務プロセス改善



3 Digital Transformation
デジタルトランスフォーメーション

抜本改革・新サービス・風土変革

DX 2段階（2023年DX白書より）

デジタルオペティマイゼーション

アナログのデジタル化

IT+業務プロセス改善

抜本改革・新サービス・風土変革

3

Digital Transformation

デジタルトランスフォーメーション

DX 3つの階段(例)

1 Digitization
デジタイゼーション

マニュアルから
オートマへ



2 Digitalization
デジタルイゼーション

カラー変更
オプション追加



3 Digital Transformation
デジタルトランスフォーメーション

EV&自動運転






Threat
脅威



Opportunity
機会

現代社会の特徴 1

Volatility 変動性
急速なテクノロジーの進化



現代社会の特徴 2

Uncertainty 不確実性
突然のパンデミック・災害・戦争

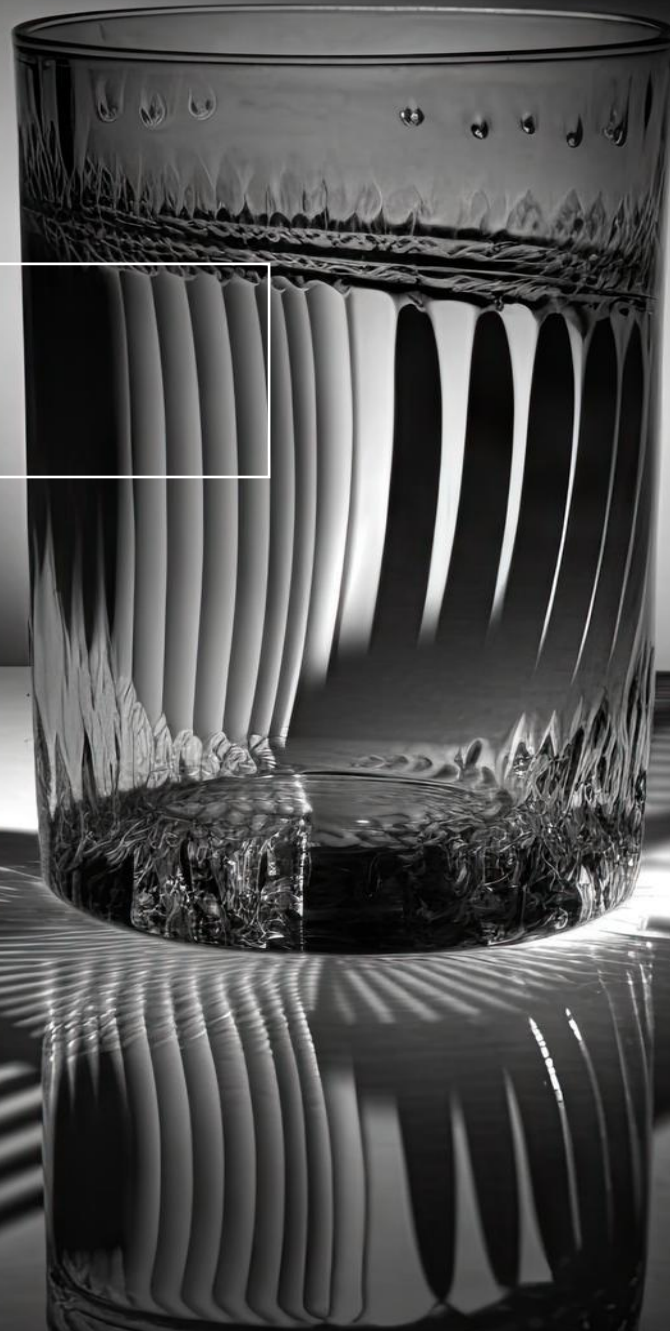
現代社会の特徴 3

Complexity 複雑性
仮想通貨・リアル通貨・複雑に絡む経済



現代社会の特徴 4

Ambiguity 曖昧性
因果関係が見えづらい世の中



現代社会

VUCA の時代



VOLATILITY



Volatility
変動性

UNCERTAINTY



Uncertainty
不確実性

COMPLEXITY



Complexity
複雑性

AMBIGUITY



Ambiguity
曖昧性



未来社会の課題 1 2025年の崖



レガシー化

カスタマイズを繰り返し
簡単に変えられない…

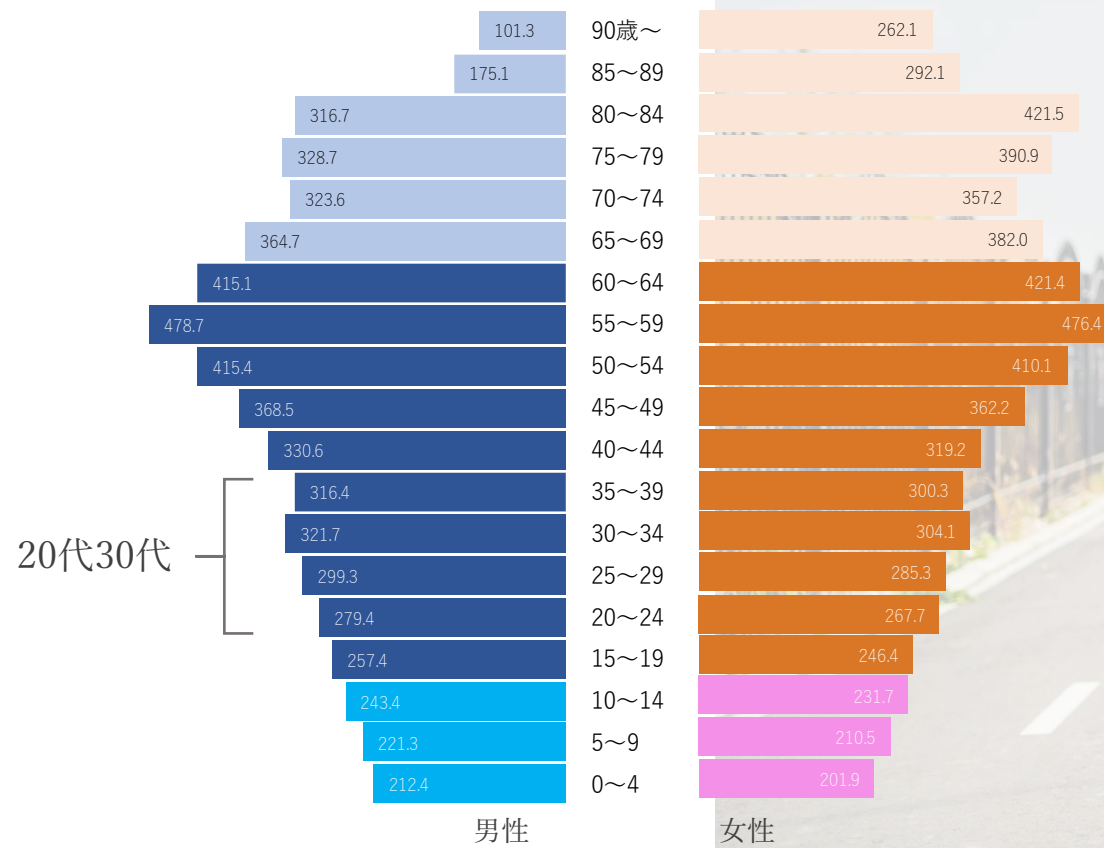


人材問題

Cobol技術者
の高齢化

未来社会の課題2 2030年問題

2030年（8年後）の日本



20代30代



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する

6. 危機回避・脅威打破のDX



2025 古いままのシステム

2030 働き盛りの世代不足



現状維持は衰退か？

脅威を打破するDX



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する






Opportunity
機会

チャンス1

モバイル機器の進化

スマートフォン普及率

2010年 4%

2022年 94% 

スペック進化
センサー進化

チャンス2

映像体験の進化



世界のメタバース・VR・AR

2028年 46兆円 



チャンス3

データ取得方法の進化

日本国内IoT市場

2025年 10兆円 

水中無線ドローンも登場
航続距離1万キロ超も登場
24時間365日稼働の全自動型も登場

チャンス4

自動処理技術の進化

日本国内ロボット産業

2035年 9.7兆円 

チャンス5

人工知能の進化



日本国内AI市場

2025年 1200億円 ↗

機械学習プラットフォーム市場

44% ↗



この流れに乗って

チャンスを捉えるDX



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



DX定義のまとめ

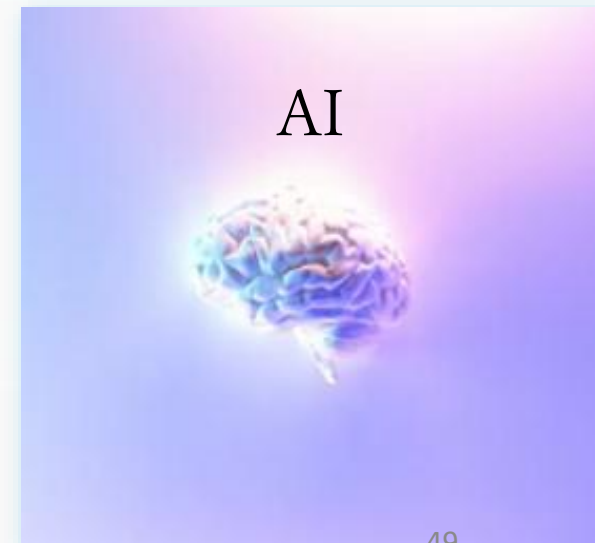
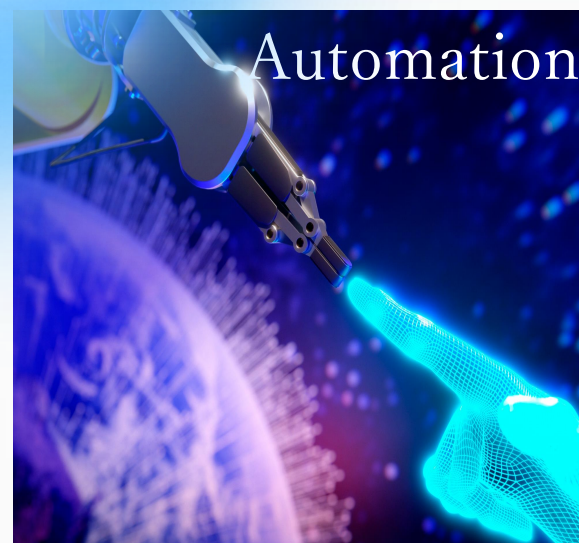
- ✓ DXの定義は変化している
- ✓ 2022年最新定義は「社会」「公共」「企業」の3つのDX
 - ✓ 社会のDX リアル空間とデジタル空間の融合・サステナブル社会の実現
 - ✓ 公共のDX スマートな行政サービス・協働で課題解決
 - ✓ 企業のDX 戦略から風土に至るまで変革し企業価値を高める
- ✓ AX/BX/CX/UI/UX 混同しやすい言葉に注意
- ✓ DX定義は企業によって少しずつ異なる
- ✓ DX時代のIT投資目的は、Run the BusinessではなくValue UPへ
- ✓ DXの3つの段階



脅威を打破するDX

ブーム

機会獲得のためのDX



第一回：宮崎青年会議所 DXさきがけセミナー



DX入門

未来のビジネスを牽引するための基礎知識

— テーマ：DXを感じる —

第二部（DX時代の新技術）へ続く



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



第2部セミナー

「DX時代の新技術入門講座」

RPA(Robotic Process Automation)
/AI-OCR/XR



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



第一回：宮崎青年会議所 DXさきがけセミナー

DX時代の新技術（1）

RPA（Robotic Process Automation）/AI OCR/XR

— テーマ：DXを感じる —



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



DX時代の新技術 (1)

— テーマ：DXを感じる —



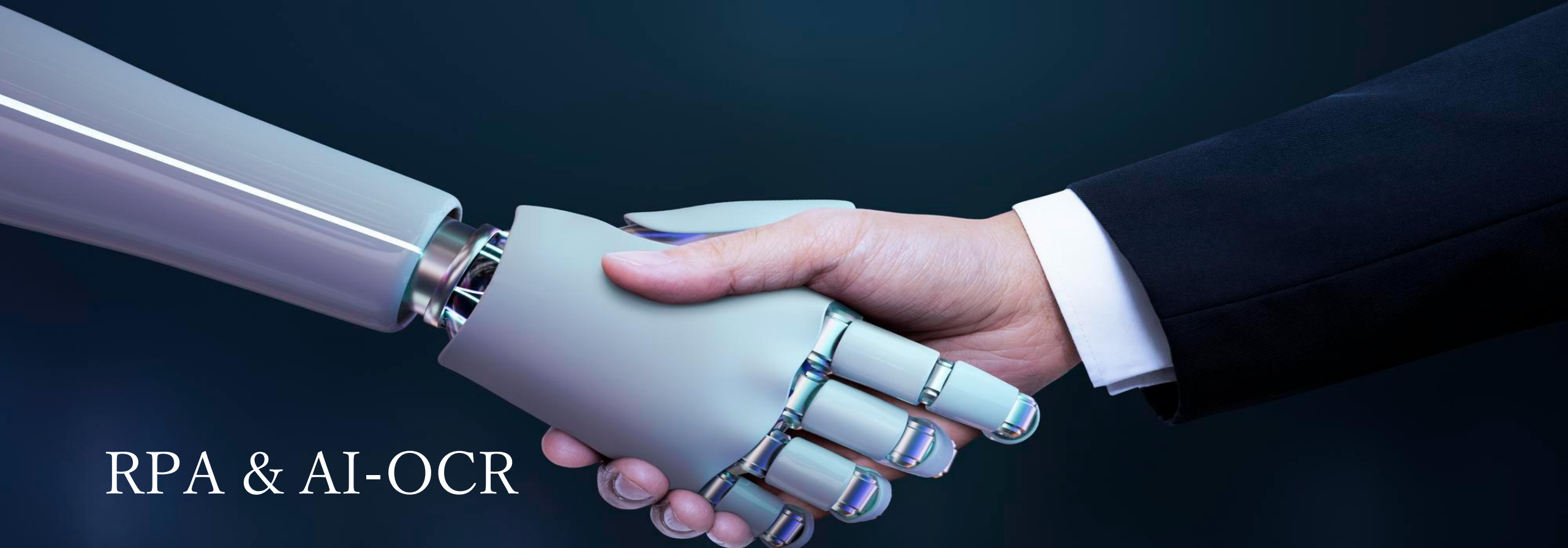
INDEX

1. 自動処理の背景
2. RPAとは
3. AI-OCRとは
4. 事例紹介
5. RPA DXとの関係と注意点
6. XRとは
7. VR・AR・MR・Metaverse
8. DX新技術 (1) まとめ



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する





RPA & AI-OCR

DXとの関係は？

1

Digitization

デジタイゼーション

アナログのデジタル化

AI-OCR

×

RPA

ここまで

2

Digitalization

デジタライゼーション

IT+業務プロセス改善

3

Digital Transformation

デジタルトランスフォーメーション

抜本改革・新サービス・風土変革



自動処理の背景

現代の6つの経営資源

①ヒト

②モノ

③カネ

④情報

⑤知的財産

そして…

⑥時間



Time is Money
を実感する時代に突入

働き方改革関連法



年720時間以内
月45時間超過が年6ヶ月以内

時間外労働の上限規制



年最低5日の有給休暇取得

年次有給休暇



正規雇用者 = 非正規雇用者

同一労働・同一賃金

生産性

残業



時間確保 が経営上の重要な課題

2030年問題 (8年後の日本)



ヒトの取り合いが激化

2030年問題 (8年後の宮崎県)

男性計:461,084人

女性計:515,542人



県外への人材流出の可能性も

時間確保が経営上の重要な課題

働き方改革

2030年問題



時間を有効活用して生産性UP！



A white humanoid robot is shown from the side, sitting at a desk and interacting with a laptop. The robot has a sleek, futuristic design with visible joints and a circular sensor on its head. In the background, several translucent digital screens float in the air, displaying various data visualizations such as bar charts, pie charts, and world maps. The overall scene is set against a blue gradient background, suggesting a high-tech or digital environment.

RPAとは

~パソコン操作を自動化~

工場では



産業ロボットが人間に代わり
製品を組み立てるのが当たり前

事務所では

ソフトウェアロボットが人間
に代わり事務作業をする時代に



RPA

Robotic Process Automation

ロボットによる事務作業の自動化



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



具体的には

特徴①



人間の**数倍速**で操作代行

特徴②



ヒューマンエラーが起きない

特徴③



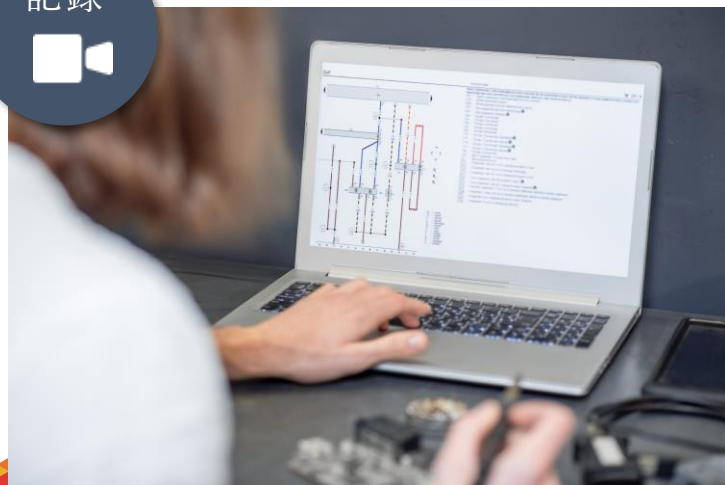
休まず仕事をしてくれる

仕組み 簡単に言うと...

シナリオ自動記録

業務操作を記録、
シナリオのひな型を作成

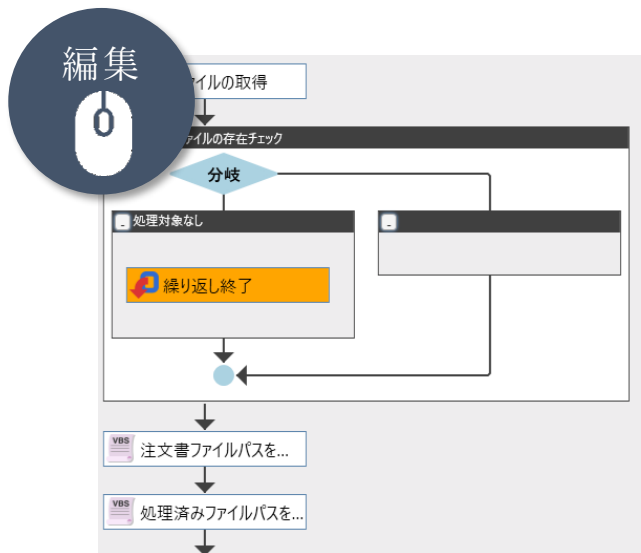
記録



シナリオ編集

GUI操作等でシナリオの
動作条件を編集

編集



シナリオ実行

業務操作を自動で正確に再現

実行



業務選定が重要

1) 単純かつ日・週単位で**高頻度**に実施する業務であるか



2) 大量件数の登録や参照を**繰り返す**業務であるか



3) 人手作業による**ミスが発生しやすい**業務であるか



4) **秘匿性の高い**データを扱う業務であるか



5) **目検や人の判断**が必要な業務であるか



費用対効果が高い

複数部門にまたがる業務であるか

詳細ヒアリング

プロセス図
マニュアル整備

RPA適用範囲
確定

RPA構築

導入

RPAに適している業務例 1

業務システムからCSVファイルを出力し、グラフを作成して、指定のフォルダに保管する

- 01 業務システムの機能でCSVファイルをダウンロード
- 02 CSVファイルをExcelで開き、ソートや条件抽出を行ってグラフ化
- 03 その結果を別のExcelファイルとして保存したり、PDFに変換して保存
- 04 所定のルールでフォルダを作成して振分け

01

業務システムからCSV
ファイルをダウンロード



02

Excelを開き、
グラフを作成



03

別名でExcelや
PDFファイルを保存



04

フォルダを作成し
ファイルを振分け



RPA適用例

RPAに適している業務例 2

Excelに登録しているデータをリスト化、業務システムへ繰り返し登録する

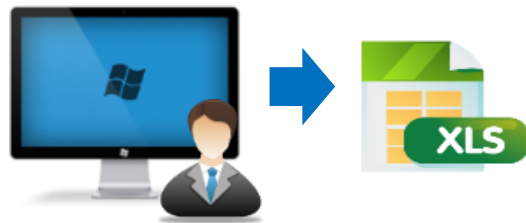
01 Excelにデータをまとめてリスト化

02 Excelファイルを読み込む

03 業務システムへ登録

01

Excelに
データをまとめる



02

Excelファイルを
システムに読み込む



03

業務システムへデータを登録



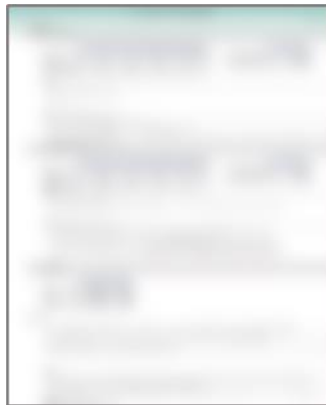
RPA適用例



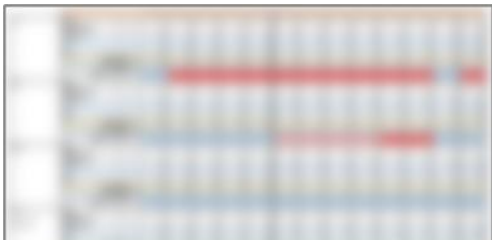
多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



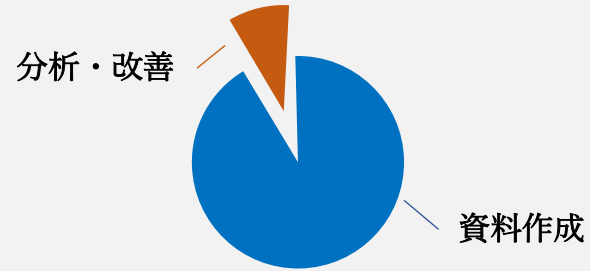
営業日報



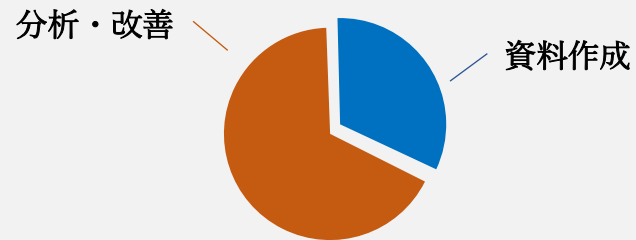
報告資料




資料を作成し、
報告することが目的になりがち



資料作成は、さくっと完了
現状把握や対策に時間をかけるべき





紙を見ながら同じ内容を入力する時間



より生産性UPに繋がる時間



Handwritten Japanese text, partially obscured by a grey rectangular box.

AI-OCRとは
手書き文字のデータ化

OCRとは

Optical Character Recognition の略称（光学文字認識）



印刷された用紙は得意

手書き文字は課題

特に日本語のOCR処理は高難度



英語圏：36キャラクター
常用漢字：2,136キャラクター

手書き文字課題をAIで解決

AI-OCRとは

識字率

UP

手書き文字

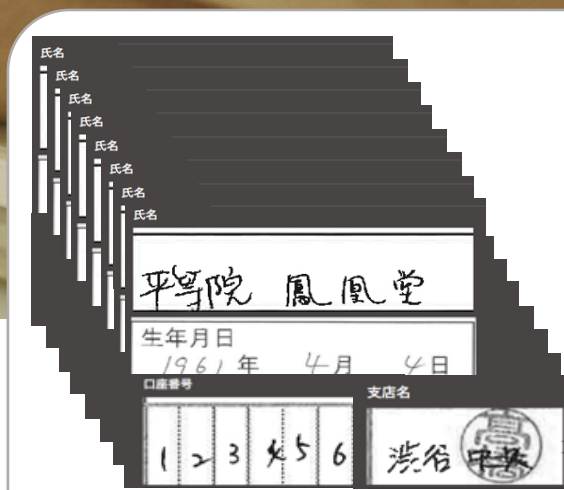


AI-OCR

具体的には

収集した大量の文字データから文字の特徴を抽出し「**ディープラーニング**」の技術を活用することで、高精度に手書き文字を認識

AI



氏名
氏名
氏名
氏名
氏名
氏名
氏名
氏名
氏名
氏名

平学院 鳳凰堂

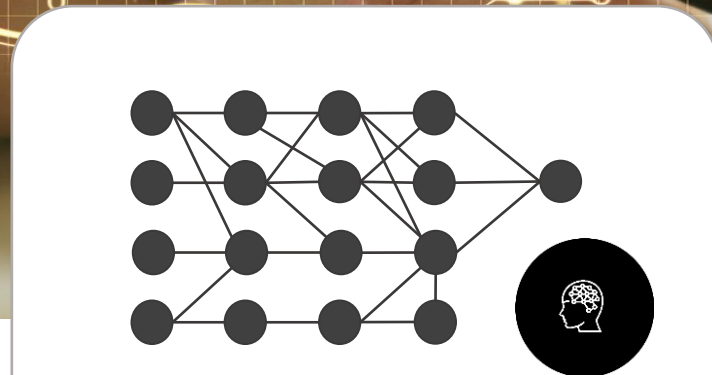
生年月日
1961年 4月 4日

口座番号
1 2 3 4 5 6

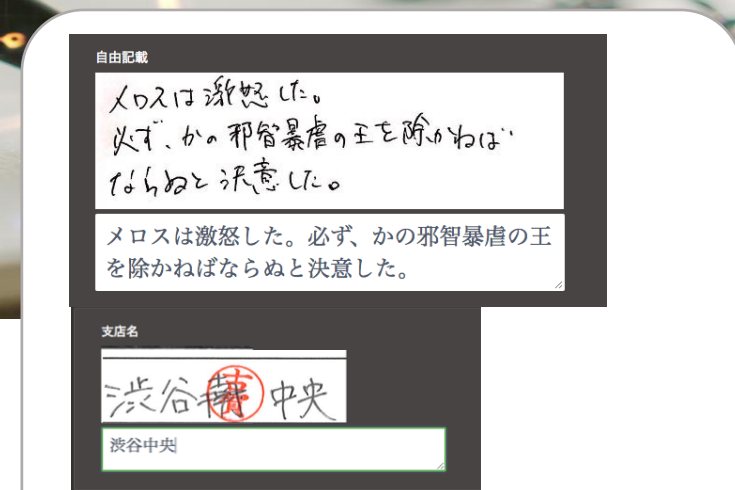
支店名
渋谷 中央

Aa
あア
1 2 3

大量の文字情報から



文字や項目の特徴を抽出し
“ディープラーニング”の技術で



自由記載
メロスは激怒した。
必ず、かの邪智暴虐の王を除かねば
ならぬと決意した。

支店名
渋谷中央

渋谷中央

高精度な文字認識を実現

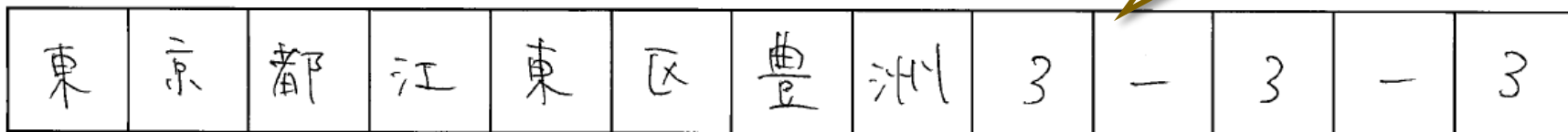


従来型OCRとAI-OCRの違い

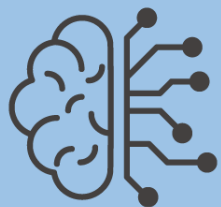


従来型OCR

全ての項目がボックス枠付きである必要あり

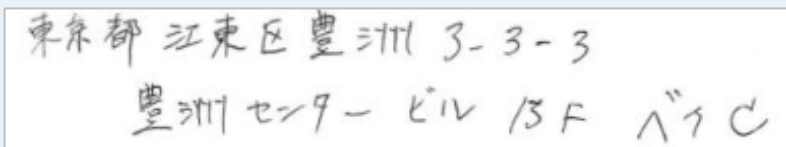


文字と文字のつなぎ目や
切れ字を判別することが困難

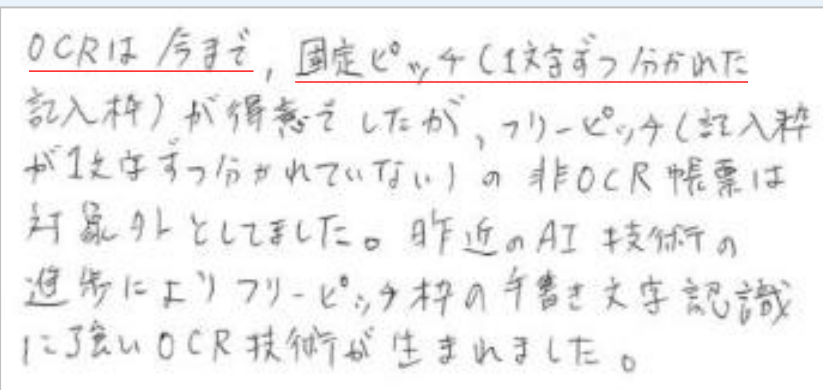


AI-OCR

漢字・カタカナ・数字・アルファベットの混在可能



フリーピッチ・複数行のOCR認識が可能



AIにより自由記述式の記入欄（フリー）
や複数行で書かれた「手書き文字」も
認識が可能に！

OCRは今まで、固定ピッチ（1文字ずつ
分かれた記入枠）が得意でしたが、フ
リーピッチ（記入枠が1文字ずつ分か
れていない）の非OCR帳票は対象外と
してました。昨近のAI技術の進歩に
よりフリーピッチ枠の手書き文字認
識に強いOCR技術が生まれました。



RPA × AI-OCRには、

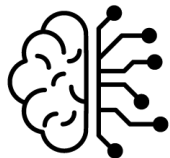
時間確保

+

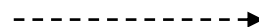
副次的な効果



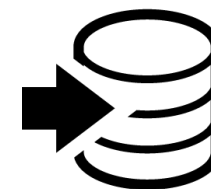
RPA



AI-OCR



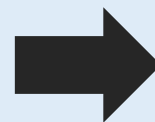
ペーパーレス化の加速



Step1

Digitization

デジタルイゼーション



アナログのデジタル化

A wooden mannequin wearing a black graduation cap with a red tassel is sitting on a silver laptop keyboard. The laptop is on a light-colored wooden desk. A semi-transparent yellow rectangular box is overlaid on the image, containing the text '事例のご紹介' in white.

事例のご紹介

事例①

事例①（動画）：福祉行政（特別児童扶養手当）作成業務（障がい福祉課）

AI-OCR × RPA

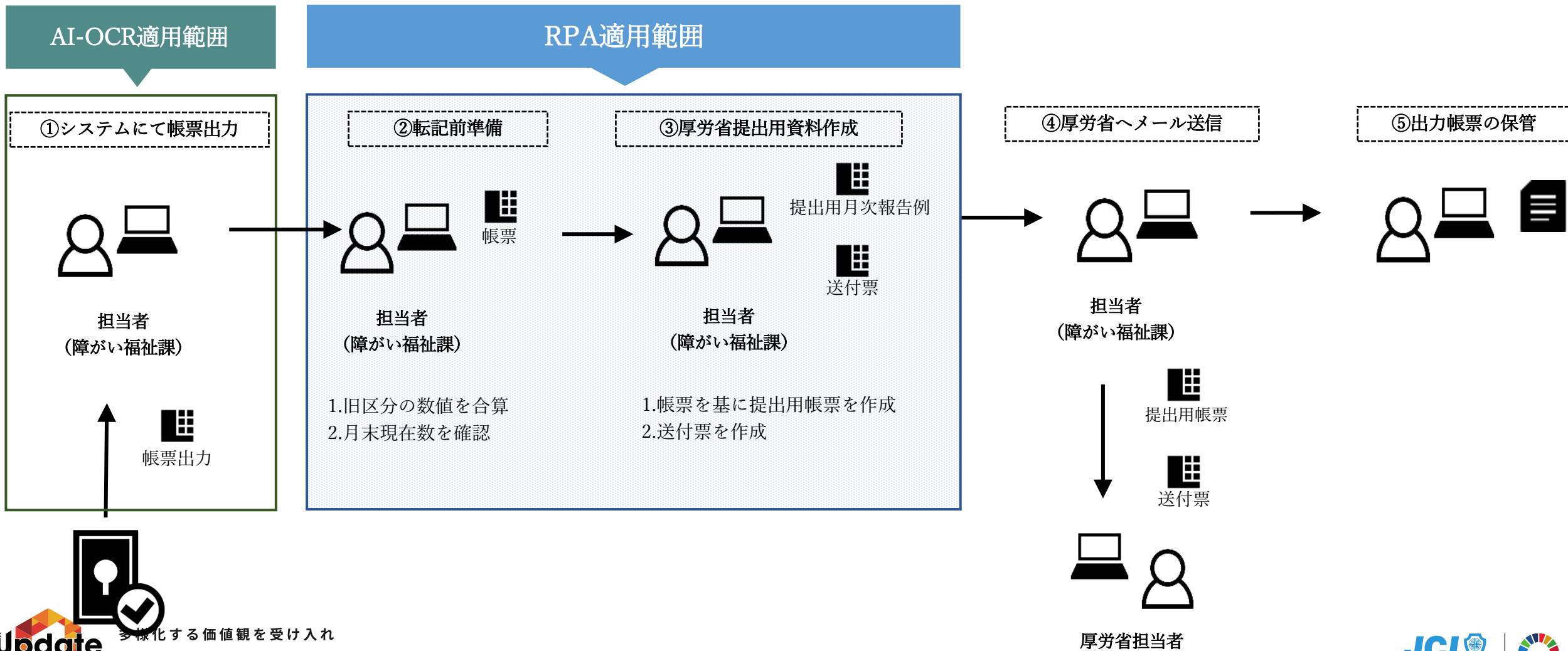


多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



©株式会社デンサン

AI-OCRにてCSVデータを作成 → RPAで別のエクセルファイルへ転記



Update 多様化する価値観を受け入れ
特別児童扶養手当支給に挑戦する

事例②

事例②：現住人口統計集計・公表業務（統計調査）

RPA



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



Excelからの転記、集計及び月報作成をRPA化

■ 業務概要

宮崎県の人口統計調査票審査および推計人口月報を作成

- 👉 各市町村から毎月10日までに提出される調査票を審査
- 👉 宮崎県の推計人口（毎月1日現在）月報を作成



■ 課題

26市町村分のデータを手作業により審査、月報作成しており時間を要している

- 👉 1月分で約8時間、年間で約100時間

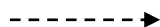
<作業時間>
年間 約100時間



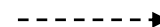
Excelからの転記、集計及び月報作成をRPA化



受領した調査票を保管



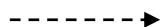

RPA実行（審査）



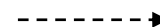

RPA実行（原稿用データ作成）




RPA実行（月報作成）



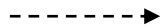

完了（Excelファイル）




原稿・調査票の印刷・確認

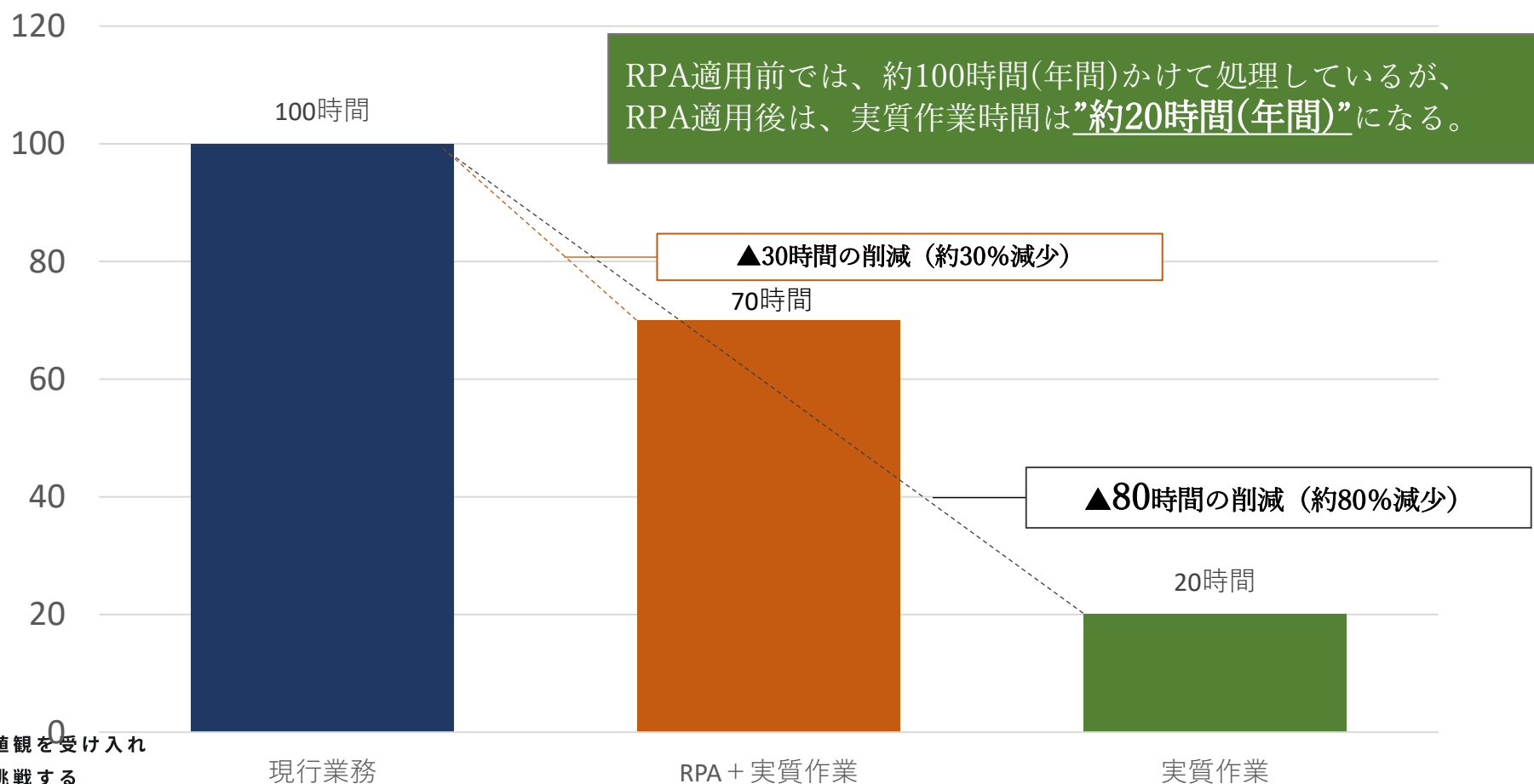



決裁に回す

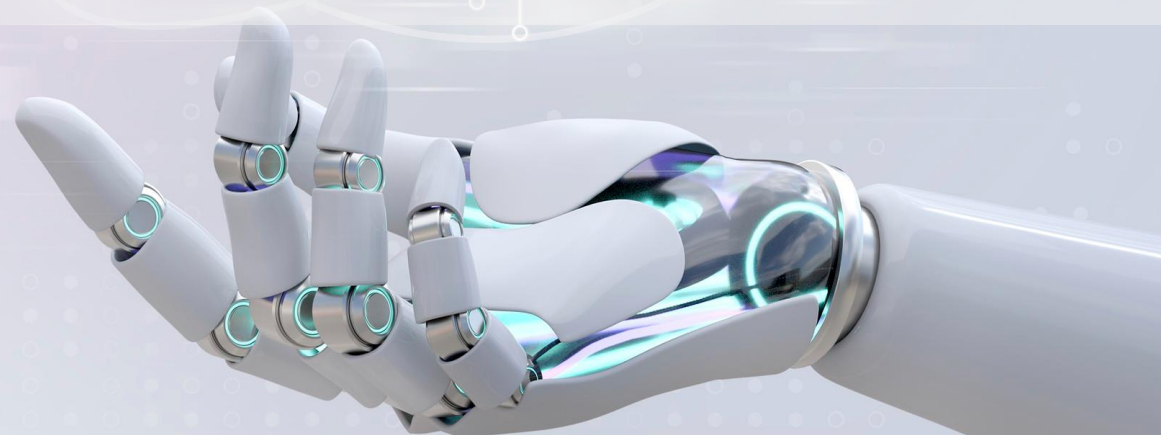



ホームページ公開

Excelからの転記、集計及び月報作成をRPA化



DXとの関係と注意点



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



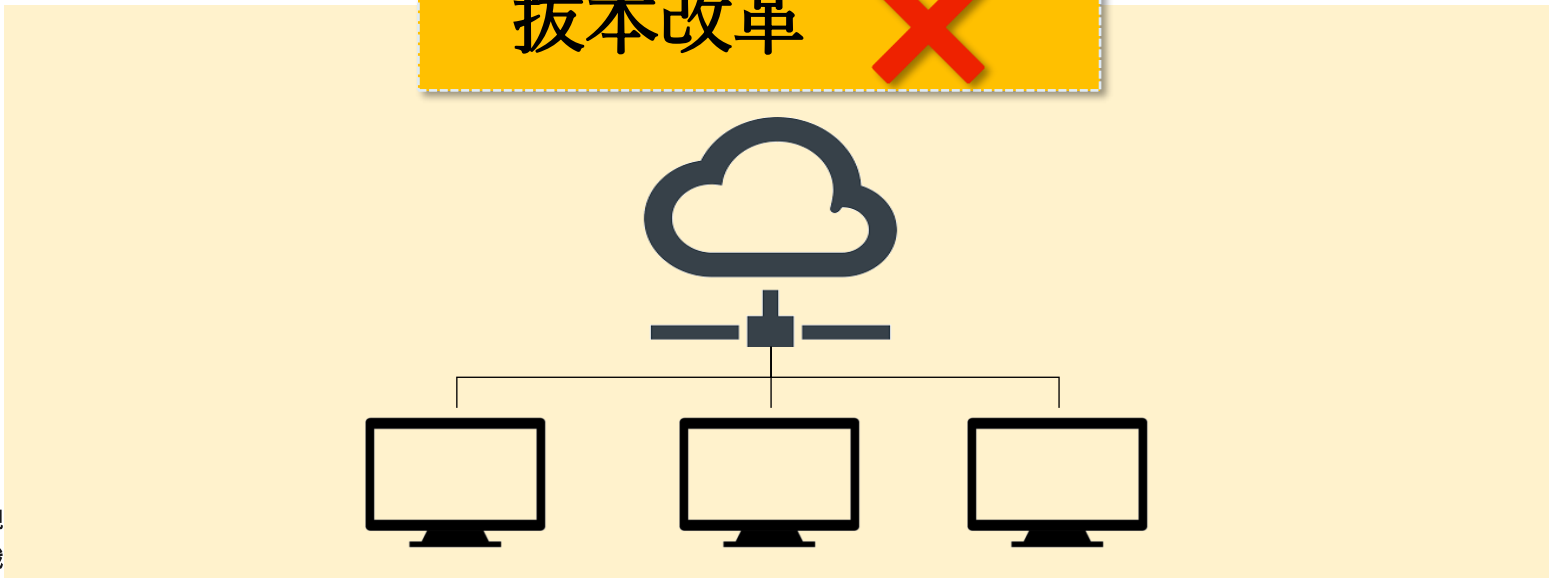
RPAやAI-OCRの注意点 (1)



プロセスは変わるが
システム刷新はされていない



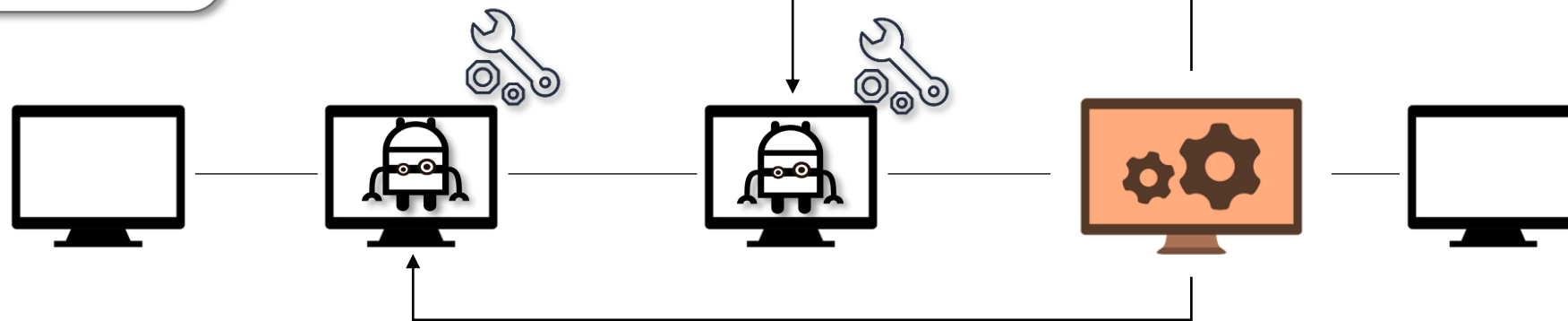
抜本改革 **×**



多様化する価値観
変化に挑戦

RPAやAI-OCRの注意点 (2)

システム変更→作業発生



離職によるブラックロボット化



作りすぎて管理が煩雑



業務選定が重要

1) 単純かつ日・週単位で**高頻度**に実施する業務であるか



2) 大量件数の登録や参照を**繰り返す**業務であるか



3) 人手作業による**ミスが発生しやすい**業務であるか



4) **秘匿性の高い**データを扱う業務であるか



5) **目検や人の判断**が必要な業務であるか



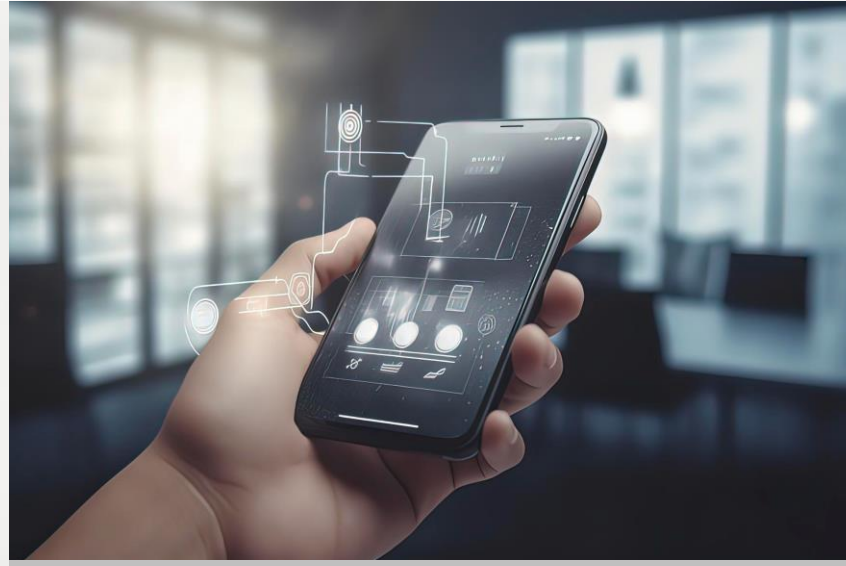
費用対効果が高い

複数部門にまたがる業務であるか



XRとは

XRとは3つのRealityの総称



Virtual Reality

VR

仮想現実

Augmented Reality

AR


拡張現実

Mixed Reality


MR

複合現実

XRによって認知方法・記録方法が新たな段階へ



絵・写真・動画
2Dの世界



没入・体験
感触の世界

映像内に入り込める

映像内を移動できる

映像内の物体を触れる

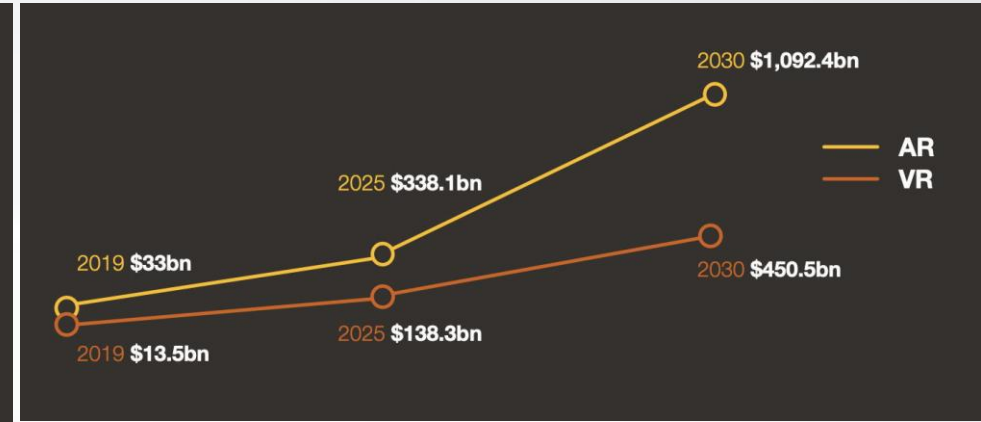
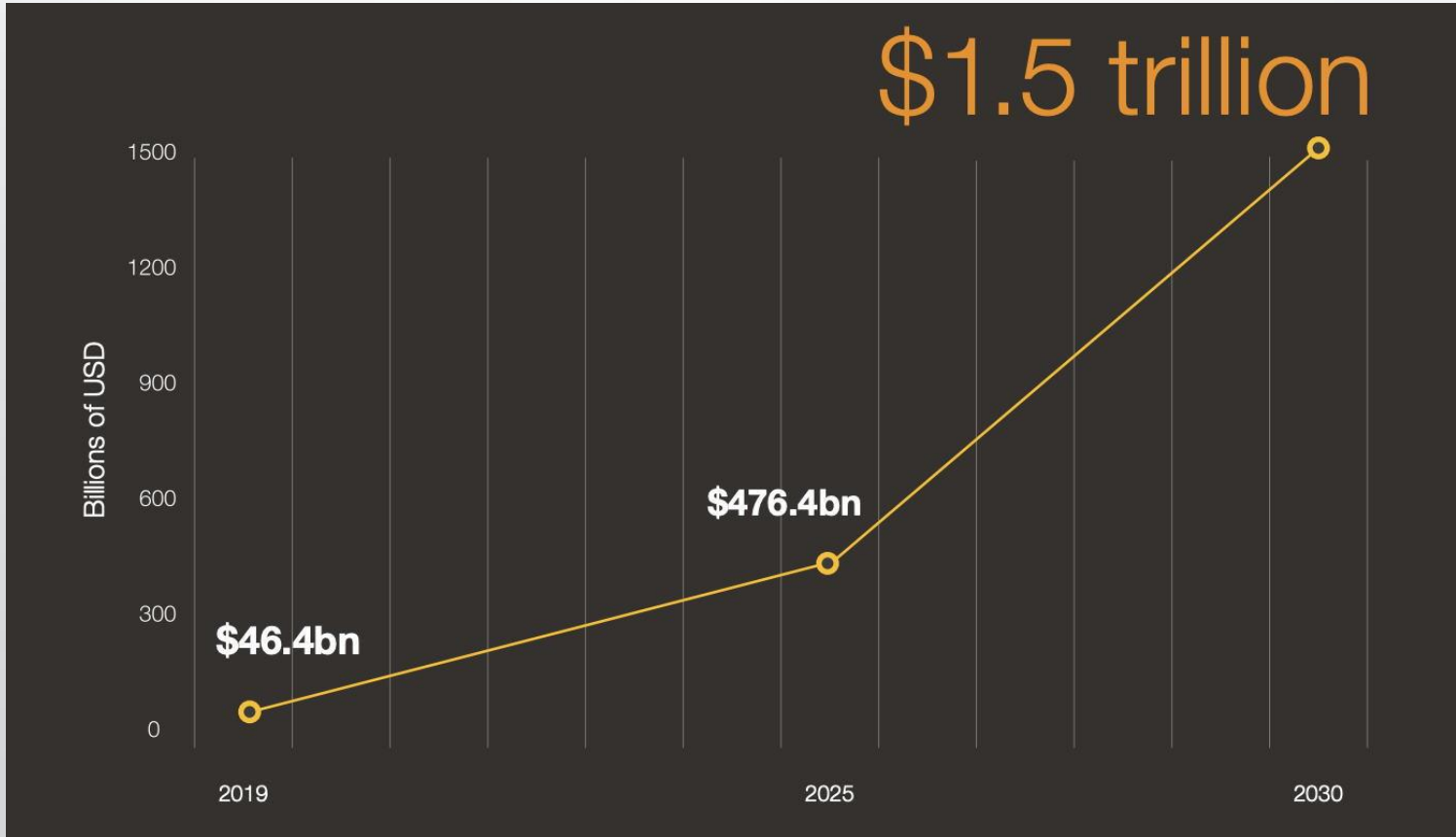
物体を編集・操作できる

VR



多様化する価値
変化に

VRの市場



画像：PwC “How virtual reality and augmented reality are transforming business and the economy” p4

PwCによる2021年12月発表の予測値では、AR・VRがGDPに与えるインパクトについては2030年までに約1.5兆米ドルとなると予測。

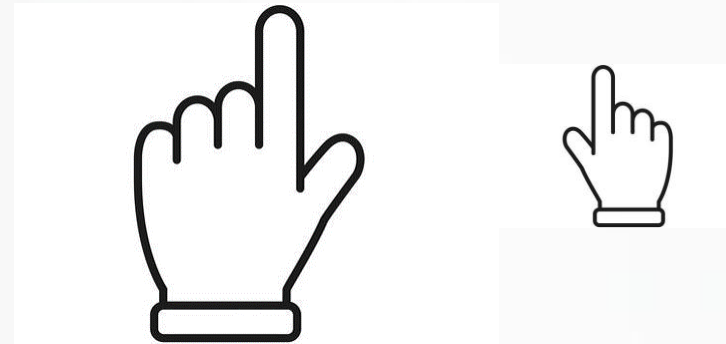
また、ARとVRとでは、ARが市場牽引役を担うと発表している。

VRの仕組み

人の目は、左目と右目に映った像の差 = 「両眼網膜像差」あるいは「両眼視差」によって、ものを立体視していると言われます。

まず、左手人差し指を目の近くに立ててください。

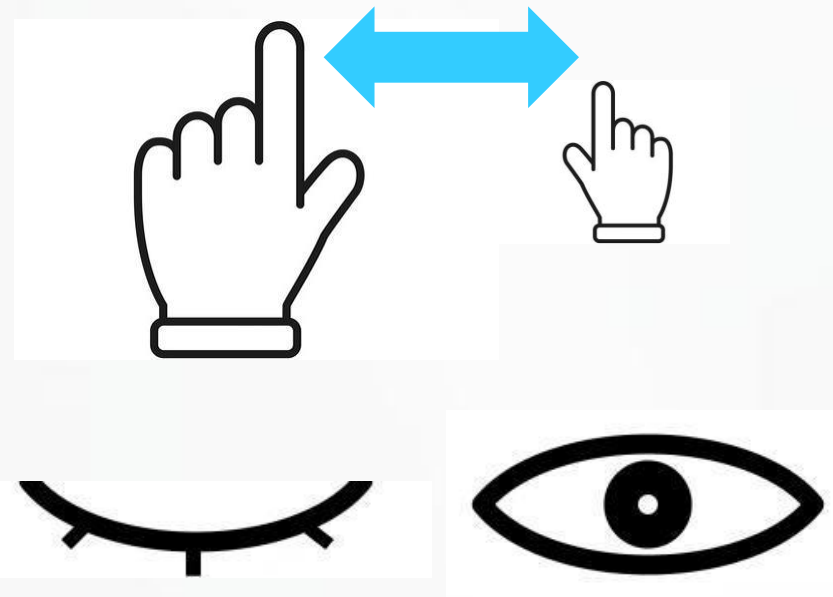
次に、右手人差し指を目から離れた遠くに立ててください。



VRの仕組み

人の目は、左目と右目に映った像の差 = 「両眼網膜像差」あるいは「両眼視差」によって、ものを立体視していると言われます。

左目を閉じて見たときの「指の距離」と
右目を閉じて見たときの「指の距離」が異なる



VRの仕組み

この「両眼視差」を応用したものがVRです



確度が異なる映像を2つの画面で表示し
左右の目それぞれでその2枚の映像を見る



立体だ！と
脳が処理する



VRの仕組み

人間の視野角分の映像を左右分撮影し、出力する
これにより、首を左右上下に動かすと、それに対応する映像が立体視される

向きを感知するセンサー内臓
上下左右奥行の情報が付与された空間音声と同時に再生する機器もあり

人間の視野角
片目につき上方に60度、下方に75度、鼻側に60度、耳側に100度



Mixed Reality

VRとARの良いところ取り

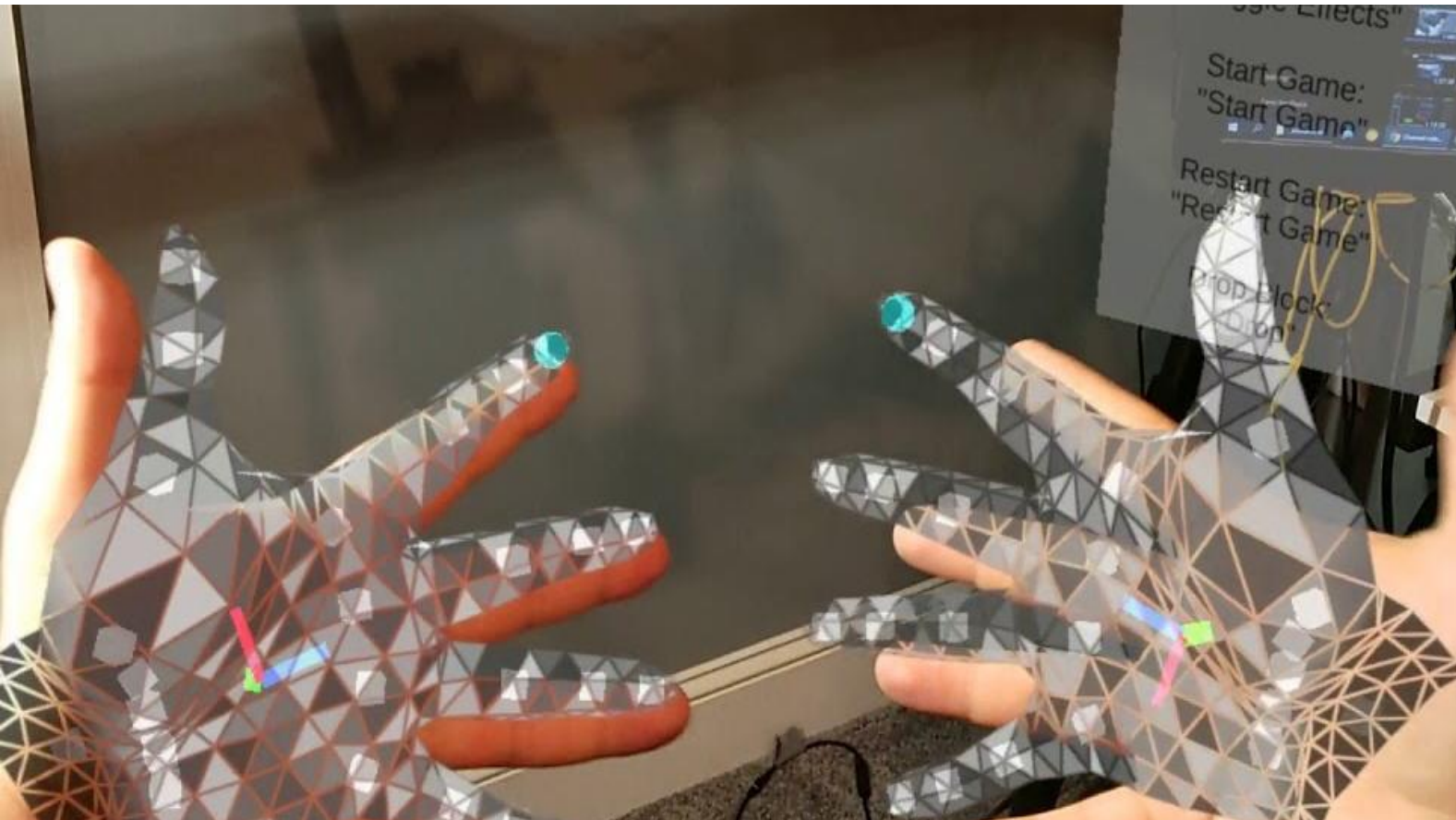


現実世界にオブジェクト
を表示させ、手の動き
やコントローラーで
様々な操作が可能なもの

Mixed Reality

VRはコントローラによる操作が大半（一部、手の追従も可能）

MRは細かな操作が要求されるため、ハンドトラッキング技術を採用するコンテンツが大半となる。



Hand Tracking技術

手を認識し、指の細かな動きまで把握して反映させる

Metaverse

A futuristic cityscape at night, viewed from a high vantage point. In the foreground, a person stands on a glowing, blue and purple digital platform that reflects the city lights. The platform is surrounded by intricate, glowing patterns. In the background, a dense city skyline is visible, with numerous skyscrapers illuminated in various colors, primarily purple and blue. The sky is dark, with wispy clouds and a prominent, glowing blue digital overlay that resembles a stylized, abstract shape. The overall atmosphere is one of a virtual, digital world.

メタバースとは

「超えた、高次の」を意味するmeta（メタ）と
「世界、宇宙」を意味するuniverse（ユニバース）を合成した言葉

SF作家のニール・スティーヴンソン氏、1992年「スノウ・クラッシュ」で初登場

- ・ 「メタバース＝高次の世界」
- ・ 現実とは異なる「もう一つの世界」
- ・ 現実世界の模倣に拘らず「都合の良い世界」を実現可能



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する

メタバースの世界はこうなる

× Shopping



新しい購買体験

メタバースの世界はこうなる

×Event



これまでにない演出や臨場感を体験

メタバースの世界はこうなる

× Game

プレイヤーたちが集まって交流する「居場所」



メタバースの世界はこうなる

× Build

思い通りの建物や空間を作成

メタバースの世界はこうなる

× Business



リアルでは実現できない規模のプレゼンテーション

メタバースの世界はこうなる

× Education



距離の制約を超えて人が集合

メタバースの世界はこうなる ×Sports



身体能力にかかわらず自由に体を動かしたり、憧れのグラウンドでプレイ

メタバースとミラーワールド

メタバース 「現実とは異なる、都合の良いもう一つの世界」

ミラーワールド 「現実世界と連動 現実そっくりにしたデジタルツインから現実に対してフィードバックが返ってくる」

メタバーズ アバター



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



メタバースとビックテック



メタバース Meta

社名を変えて本気度を見せる「Meta」



DX新技術（1）まとめ



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



自動処理の背景
RPA/AI-OCR

①ヒト

②モノ

③カネ

④情報

⑤知的財産

⑥時間

Time is Money
を実感する時代に

2030年問題

働き方改革

生産性



残業



RPA AI-OCR

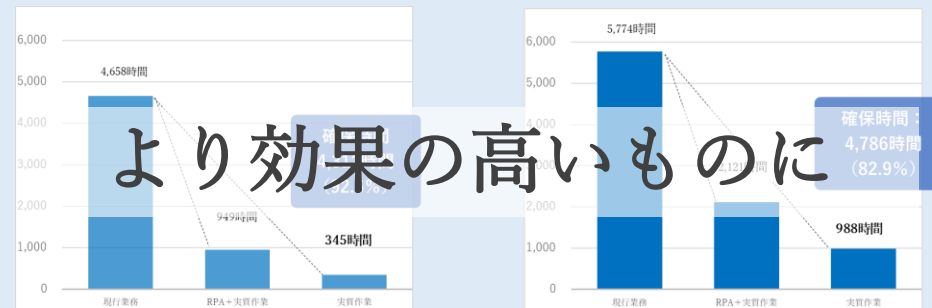
RPAとは (Robotic Process Automation)

ロボットによる事務作業の自動化

AI-OCRとは (Optical Character Recognition)

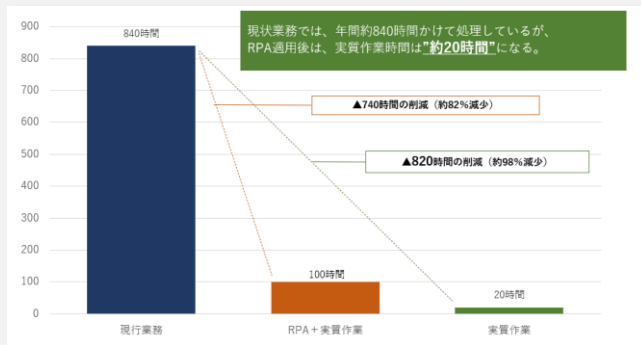
手書き文字課題をAI (ディープラーニング) で解決

AI-OCR × RPA



自動処理 注意も必要

- 1) 稼働システムが刷新された訳ではない → 抜本改革ではない点注意が必要
- 2) 稼働システムの変更 → RPAの変更が必要
- 3) 離職によるリスク → どう動いているか分からず「ブラックロボット化」しやすい
- 4) 作っては捨てるの繰り返し → 管理が煩雑となり 「野良ロボット」 が増加



得られたリソースを

DX
(Digital Transformation)

XR

VR

仮想現実

MR

複合現実

AR

拡張現実

← 仮想空間

→ 現実空間

産業DXサポートセンター



6/30（金）開設のDXサポートセンター個別相談会を実施します。



第一回：宮崎青年会議所 DXさきがけセミナー

DX時代の新技術 (1)

RPA (Robotic Process Automation) /AI OCR/XR

— テーマ：DXを感じる —

END

ご清聴ありがとうございました。



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



©株式会社デンソー

質疑応答



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する

謝辞

宮崎青年会議所 副理事長
浅野 龍昇 君



多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する



Update

多様化する価値観を受け入れ 変化に挑戦する



Update 多様化する価値観を受け入れ
変化に挑戦する